

2025 年 7 月 17 日

株 式 会 社 松 屋 フ ー ズ
株 式 会 社 N E W G R E E N
芙 蓉 総 合 リ ー ス 株 式 会 社

水稲の直播・節水型栽培の共同実証推進について

株式会社松屋フーズ（東京都武蔵野市、代表取締役社長 瓦葺一利、以下「松屋フーズ」）、株式会社 NEWGREEN（東京都小金井市、代表取締役 CEO 山中大介・代表取締役 COO 中條大希、以下「NEWGREEN」）、および芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、水稲の直播・節水型栽培※1（以下「本栽培方法」）の共同実証（以下「本実証」）を3社共同で進めておりますのでお知らせします。

※1 水稲の直播・節水型栽培

水を張らない田に種籾を直接播き、その後湛水することなく雨水や走水といった補水のみで栽培する節水型の水稲栽培方法。

バイオスティミュラント資材を使用し、稲の栄養素吸収率を高めることで水稲種の乾田栽培を可能にします。

日本の農業は農業人口の高齢化や減少による急速な農地集約の必要性、生産コストの高騰、温室効果ガスの排出抑制など、数多くの課題を抱えています。

このような状況の中、本栽培方法は育苗・田植えや水管理を省力化することによる労働工数の劇的な低減に加え、農業分野で排出される温室効果ガスの多くを占めるメタンガスの削減効果が期待されています。

松屋フーズと芙蓉リースは日本の農業が抱える数多くの課題解決の手段の一つとして本栽培方法に着目し、必要な資材の販売や栽培マニュアルの作成などを通じて本栽培方法の普及に努めている NEWGREEN と共に本実証を実施するに至りました。

本実証では千葉県木更津市において本栽培方法にて稲作を行い、松屋フーズの商品としての提供を念頭に置いた収量・品質検証を行う他、本栽培方法がもたらす環境価値の活用余地を検討します。

資材の提供や稲作指導は NEWGREEN が担い、松屋フーズは自社の商品としての提供及び自社での稲作参入を念頭に置き、本実証のプロセス及び収穫物の検証・評価を行います。芙蓉リースは共同事業者として本実証の資金を支援するとともに、これまでのカーボンクレジット創出プロジェクトへの参画で得たノウハウや知見を活かし、本栽培方法の環境価値の活用に関しての検討も行います。

松屋フーズ、NEWGREEN および芙蓉リースは、本実証を通じ日本の農業が抱える課題の解決を目指してまいります。

以上

<実証圃場の様子>



お問い合わせ先

株式会社松屋フーズホールディングス（担当）総務・広報グループ

電話番号 0422（38）1129 URL : <https://www.matsuyafoods.co.jp/>

株式会社 NEWGREEN 企画室（担当）田中

電話番号 080（7441）3934 URL : <https://newgreen.inc/>

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）渡邊

電話番号 03（5275）8891 URL : <https://www.fgl.co.jp/>